

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公開番号】特開 2018-89349 (P2018-89349A)

【公開日】平成 30 年 6 月 14 日 (2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2018-022

【出願番号】特願 2017-157505 (P2017-157505)

【国際特許分類】

A 6 2 C 13/62 (2006.01)

A 6 2 C 13/02 (2006.01)

A 6 2 C 37/36 (2006.01)

【F I】

A 6 2 C 13/62 A

A 6 2 C 13/02

A 6 2 C 37/36

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 11 日 (2021.8.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 8】

第 3 の実施例は、火災抑制システムを開示する。火災抑制システムは、火災抑制剤を含む容器を含む。容器は、第 1 のポートと第 2 のポートを含む。火災抑制システムは、第 1 のポートに連結されたガス生成器を更に含む。ガス生成器は、推進剤ガスを生成し、それを第 1 のポートを介して容器の中へ流すように構成されている。火災抑制システムは、第 2 のポートに連結された分配マニホールド、及び第 2 のポートを密封するディスクを更に含む。ディスクは、(a) 容器内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、(b) 破裂に応じて、分配マニホールドの中へ火災抑制剤を解放するように構成されている。火災抑制システムは、(a) ユーザ入力を受信し、(b) ユーザ入力を受信したことに応じて、ガス生成器へ制御入力を送信し、ガス生成器に推進剤ガスを生成させるように構成された、ユーザインターフェースを更に含む。容器の全容積の少なくとも 60% 且つ 80% 以下が、火災抑制剤で満たされる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 6】

更に、本開示は下記の条項による実施例を含む。

条項 1

容器 (102) から分配マニホールド (114) の中へ火災抑制剤 (104) を排出するための方法 (200) であって、

前記容器 (102) の第 1 のポート (106) を介して前記容器 (102) の中へ流れる推進剤ガス (112) を生成し、前記容器 (102) 内の圧力を上昇させることであって、前記推進剤ガス (112) の前記生成の前に、前記容器 (102) が前記火災抑制剤 (104) を含む、上昇させること、及び

前記容器（１０２）内の前記圧力が閾値圧を超えたことに応じて、前記容器（１０２）の第２のポート（１０８）から前記分配マニホールド（１１４）の中へ前記火炎抑制剤（１０４）を排出することであって、少なくとも、前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に前記容器（１０２）内に含まれていた前記火炎抑制剤（１０４）の実質的に全てが、前記第２のポート（１０８）を介して前記容器（１０２）から排出されるまで、前記生成された推進剤ガス（１１２）が、前記第１のポート（１０６）を介して前記容器（１０２）の中へ流れ続ける、排出することを含む、方法（２００）。

#### 条項 2

前記推進剤ガス（１１２）を生成することが、ガス生成器（１１０）が前記推進剤ガス（１１２）の１以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス（１１２）を生成することを含む、条項１に記載の方法（２００）。

#### 条項 3

前記ガス生成器（１１０）において、入力を受信することを更に含み、

前記推進剤ガス（１１２）を生成することが、前記ガス生成器（１１０）において前記入力を受信したことに応じて、前記推進剤ガス（１１２）を生成することを含む、条項２に記載の方法（２００）。

#### 条項 4

前記入力を受信することが、熱検出器（１２２）、煙検出器（１２２）、又はユーザインターフェース（１２２）から、前記入力を受信することを含む、条項３に記載の方法（２００）。

#### 条項 5

前記容器（１０２）の前記第２のポート（１０８）から前記分配マニホールド（１１４）の中へ前記火炎抑制剤（１０４）を排出することが、前記容器（１０２）内の前記圧力が前記閾値圧を超えたことに応じて、前記第２のポート（１０８）を密封するディスク（１１６）を破裂させることを含む、条項１に記載の方法（２００）。

#### 条項 6

前記ディスク（１１６）を破裂させた後で、少なくとも、前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に前記容器（１０２）内に含まれていた前記火炎抑制剤（１０４）の実質的に全てが前記容器（１０２）から排出されるまで、前記容器（１０２）内の前記圧力を前記閾値圧よりも大きいか又はそれに等しい状態で維持することを更に含む、条項５に記載の方法（２００）。

#### 条項 7

前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に、第２の推進剤ガス（１１８）が前記容器（１０２）内に含まれ、前記方法（２００）が、

圧力計（１２０）を介して、少なくとも部分的に前記第２の推進剤ガス（１１８）によって生成された前記容器（１０２）内の前記圧力をモニタすることを更に含む、条項１に記載の方法（２００）。

#### 条項 8

前記火炎抑制剤（１０４）を排出することが、前記容器（１０２）内の前記圧力が平方インチ当たり９００重量ポンドのゲージ圧（psig）と１１００psigの間の範囲内の圧力を超えたことに応じて、前記火炎抑制剤（１０４）を排出することを含む、条項１に記載の方法（２００）。

#### 条項 9

前記火炎抑制剤（１０４）を排出することが、前記容器（１０２）内の前記圧力が平方インチ当たり１０００重量ポンドのゲージ圧（psig）と実質的に等しい圧力を超えたことに応じて、前記火炎抑制剤（１０４）を排出することを含む、条項１に記載の方法（２００）。

#### 条項 10

前記分配マニホールド（１１４）を通して、前記排出された火炎抑制剤（１０４）を液相で流すこと、及び

前記分配マニホールド(114)から、前記排出された火炎抑制剤(104)を液相で分配することを更に含む、条項1に記載の方法(200)。

条項11

前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に前記容器(102)内に含まれていた前記火炎抑制剤(104)の実質的に全てが前記容器(102)から排出された後で、前記容器(102)内の前記圧力を前記閾値圧未満に低減させることを更に含む、条項1に記載の方法(200)。

条項12

火炎抑制剤(104)を含む容器(102)であって、第1のポート(106)と第2のポート(108)を備えた、容器(102)、

前記第1のポート(106)に連結されたガス生成器(110)であって、推進剤ガス(112)を生成し、前記推進剤ガス(112)を前記第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流すように構成された、ガス生成器(110)、

前記第2のポート(108)に連結された分配マニホールド(114)、及び

前記第2のポート(108)を密封するディスク(116)であって、(a)前記容器(102)内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、(b)前記破裂に応じて、前記分配マニホールド(114)の中へ前記火炎抑制剤(104)を解放するように構成された、ディスク(116)を備える、火炎抑制システム(100)。

条項13

制御ユニット(122)を更に備え、前記制御ユニット(122)が、(a)火炎の存在を示す状態を検出し、(b)検出された前記状態に応じて、前記ガス生成器(110)へ入力を送信し、前記ガス生成器(110)に前記推進剤ガス(112)を生成させるように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

条項14

ユーザインターフェース(122)を更に備え、前記ユーザインターフェース(122)が、(a)ユーザ入力を受信し、(b)前記ユーザ入力を受信したことに応じて、前記ガス生成器(110)へ制御入力を送信し、前記ガス生成器(110)に前記推進剤ガス(112)を生成させるように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

条項15

前記ガス生成器(110)が、前記推進剤ガス(112)の1以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス(112)を生成するように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

条項16

前記容器(102)が、第2の推進剤ガス(118)も含み、前記火炎抑制システム(100)が、

少なくとも部分的に前記第2の推進剤ガス(118)によって生成された前記容器(102)内の前記圧力をモニタするように構成された、圧力計(120)を更に備える、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

条項17

前記容器(102)の全容積の少なくとも60%且つ80%以下が、前記火炎抑制剤(104)で満たされている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

条項18

前記容器(102)内の前記圧力が平方インチ当たり900重量ポンドのゲージ圧(psig)と1100psigの間の範囲内の圧力を超えたことに応じて、前記ディスク(116)が破裂するように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

条項19

火炎抑制剤(104)を含む容器(102)であって、第1のポート(106)と第2のポート(108)を備えた、容器(102)、

前記第１のポート（１０６）に連結されたガス生成器（１１０）であって、推進剤ガス（１１２）を生成し、前記推進剤ガス（１１２）を前記第１のポート（１０６）を介して前記容器（１０２）の中へ流すように構成された、ガス生成器（１１０）、

前記第２のポート（１０８）に連結された分配マニホールド（１１４）、

前記第２のポート（１０８）を密封するディスク（１１６）であって、（ａ）前記容器（１０２）内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、（ｂ）前記破裂に応じて、前記分配マニホールド（１１４）の中へ前記火災抑制剤（１０４）を解放するように構成された、ディスク（１１６）、及び

（ａ）ユーザ入力を受信し、（ｂ）前記ユーザ入力を受信したことに応じて、前記ガス生成器（１１０）へ制御入力を送信し、前記ガス生成器（１１０）に前記推進剤ガス（１１２）を生成させるように構成された、ユーザインターフェース（１２２）を備え、

前記容器（１０２）の全容積の少なくとも６０％且つ８０％以下が、前記火災抑制剤（１０４）で満たされている、火災抑制システム（１００）。

#### 条項 ２０

前記容器（１０２）が、第２の推進剤ガス（１１８）も含み、前記火災抑制システム（１００）が、

少なくとも部分的に前記第２の推進剤ガス（１１８）によって生成された前記容器（１０２）内の前記圧力をモニタするように構成された、圧力計（１２０）を更に備える、条項 １９に記載の火災抑制システム（１００）。

#### 【誤訳訂正 ３】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 １】

容器（１０２）から分配マニホールド（１１４）の中へ火災抑制剤（１０４）を排出するための方法（２００）であって、

前記容器（１０２）の第１のポート（１０６）を介して前記容器（１０２）の中へ流れる推進剤ガス（１１２）を生成し、前記容器（１０２）内の圧力を上昇させることであって、前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に、前記容器（１０２）が前記火災抑制剤（１０４）を含む、上昇させること、

前記容器（１０２）内の前記圧力が閾値圧を超えたことに応じて、前記容器（１０２）の第２のポート（１０８）から前記分配マニホールド（１１４）の中へ前記火災抑制剤（１０４）を排出することであって、少なくとも、前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に前記容器（１０２）内に含まれていた前記火災抑制剤（１０４）の実質的に全てが、前記第２のポート（１０８）を介して前記容器（１０２）から排出されるまで、生成された前記推進剤ガス（１１２）が、前記第１のポート（１０６）を介して前記容器（１０２）の中へ流れ続ける、排出すること、及び

前記容器内の圧力が、少なくとも、前記推進剤ガスの前記生成の前に前記容器内に含まれていた前記火災抑制剤の実質的に全てが前記容器から排出されるまで、前記閾値圧以上に維持されること、

を含む、方法（２００）。

【請求項 ２】

前記推進剤ガス（１１２）を生成することが、ガス生成器（１１０）が前記推進剤ガス（１１２）の１以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス（１１２）を生成することを含む、請求項 １に記載の方法（２００）。

【請求項 ３】

前記ガス生成器（１１０）において、入力を受信することを更に含み、

前記推進剤ガス（１１２）を生成することが、前記ガス生成器（１１０）において前記

入力を受信したことに応じて、前記推進剤ガス（１１２）を生成することを含む、請求項２に記載の方法（２００）。

【請求項４】

前記入力を受信することが、熱検出器（１２２）、煙検出器（１２２）、又はユーザインターフェース（１２２）から、前記入力を受信することを含む、請求項３に記載の方法（２００）。

【請求項５】

前記容器（１０２）の前記第２のポート（１０８）から前記分配マニホールド（１１４）の中へ前記火災抑制剤（１０４）を排出することが、前記容器（１０２）内の前記圧力が前記閾値圧を超えたことに応じて、前記第２のポート（１０８）を密封するディスク（１１６）を破裂させることを含む、請求項１から４のいずれか一項に記載の方法（２００）。

【請求項６】

前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に、第２の推進剤ガス（１１８）が前記容器（１０２）内に含まれ、前記方法（２００）が、

圧力計（１２０）を介して、少なくとも部分的に前記第２の推進剤ガス（１１８）によって生成された前記容器（１０２）内の前記圧力をモニタすることを更に含む、請求項１から５のいずれか一項に記載の方法（２００）。

【請求項７】

前記分配マニホールド（１１４）を通して、排出された前記火災抑制剤（１０４）を液相で流すこと、及び

前記分配マニホールド（１１４）から、排出された前記火災抑制剤（１０４）を液相で分配することを更に含む、請求項１から６のいずれか一項に記載の方法（２００）。

【請求項８】

前記推進剤ガス（１１２）の前記生成の前に前記容器（１０２）内に含まれていた前記火災抑制剤（１０４）の実質的に全てが前記容器（１０２）から排出された後で、前記容器（１０２）内の前記圧力を前記閾値圧未満に低減させることを更に含む、請求項１から７のいずれか一項に記載の方法（２００）。

【請求項９】

火災抑制剤（１０４）を含む容器（１０２）であって、第１のポート（１０６）と第２のポート（１０８）を備えた、容器（１０２）、

前記第１のポート（１０６）に連結されたガス生成器（１１０）であって、推進剤ガス（１１２）を生成し、前記推進剤ガス（１１２）を前記第１のポート（１０６）を介して前記容器（１０２）の中へ流すように構成された、ガス生成器（１１０）、

前記第２のポート（１０８）に連結された分配マニホールド（１１４）、及び

前記第２のポート（１０８）を密封するディスク（１１６）であって、（ａ）前記容器（１０２）内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、（ｂ）前記破裂に応じて、前記分配マニホールド（１１４）の中へ前記火災抑制剤（１０４）を解放するように構成された、ディスク（１１６）を備える火災抑制システム（１００）であって、

前記容器内の圧力が、少なくとも、前記推進剤ガスの前記生成の前に前記容器内に含まれていた前記火災抑制剤の実質的に全てが前記容器から排出されるまで、前記閾値圧以上に維持されるよう、更に構成されている、火災抑制システム（１００）。

【請求項１０】

制御ユニット（１２２）を更に備え、前記制御ユニット（１２２）が、（ａ）火災の存在を示す状態を検出し、（ｂ）検出された前記状態に応じて、前記ガス生成器（１１０）へ入力を送信し、前記ガス生成器（１１０）に前記推進剤ガス（１１２）を生成させるように構成されている、請求項９に記載の火災抑制システム（１００）。

【請求項１１】

ユーザインターフェース（１２２）を更に備え、前記ユーザインターフェース（１２２）が、（ａ）ユーザ入力を受信し、（ｂ）前記ユーザ入力を受信したことに応じて、前記

ガス生成器（１１０）へ制御入力を送信し、前記ガス生成器（１１０）に前記推進剤ガス（１１２）を生成させるように構成されている、請求項９又は１０に記載の火災抑制システム（１００）。

【請求項１２】

前記ガス生成器（１１０）が、前記推進剤ガス（１１２）の１以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス（１１２）を生成するように構成されている、請求項９から１１のいずれか一項に記載の火災抑制システム（１００）。

【請求項１３】

前記容器（１０２）が、第２の推進剤ガス（１１８）も含み、前記火災抑制システム（１００）が、

少なくとも部分的に前記第２の推進剤ガス（１１８）によって生成された前記容器（１０２）内の前記圧力をモニタするように構成された、圧力計（１２０）を更に備える、請求項９から１２のいずれか一項に記載の火災抑制システム（１００）。

【請求項１４】

前記容器（１０２）の全容積の少なくとも６０％且つ８０％以下が、前記火災抑制剤（１０４）で満たされている、請求項９から１３のいずれか一項に記載の火災抑制システム（１００）。

【請求項１５】

前記容器（１０２）内の前記圧力が平方インチ当たり９００重量ポンドのゲージ圧（p s i g）と１１００ p s i gの間の範囲内の圧力を超えたことに応じて、前記ディスク（１１６）が破裂するように構成されている、請求項９から１４のいずれか一項に記載の火災抑制システム（１００）。